

「令和6年度 ふるさと寄附金活用事業概要と実績」(回答用紙)			
事業名称	決算額(一般財源分) (千円)	事業概要	事業実績
学力向上推進事業 (義務教育課)	6,158	各小・中学校等における学力向上の取組を学習状況調査等で検証するとともに、その結果に基づき、より質の高い学習活動が行われるよう、教員の指導力や児童生徒の個性と能力を伸長させる事業を展開します。	・小学校4年生から中学校2年生までを対象に、学力・学習意欲等に関する調査を実施しました。 ・各小・中学校等の授業改善に係る取組や児童生徒の学習意欲の向上を図る取組を支援しました。
「あきたの文化」魅力再発見事業 (文化振興課)	5,482	多様な民俗芸能の演舞、展示、体験等で構成する「あきた無形民俗文化財万博」を開催し、県内外からの来場者に秋田の文化の魅力を再発見する機会を提供します。	あきた無形民俗文化財万博 期日：令和7年2月23日(日)・24日(月・祝) 会場：あきた芸術劇場ミルハス 来場者・参加者：858名
元気で明るい長寿社会づくり事業 (長寿社会課)	19,055	健康で活気に満ちた長寿社会の実現に向けた社会参加の機運を高めるほか、高齢者の暮らしを支える体制を強化します。	・高齢者の生きがいや健康づくりを支援するため、スポーツや文化に親しむイベント「ねんりんビック」(全国健康福祉祭)への選手派遣を支援するとともに、県版ねんりんビック開催に係る経費を助成しました。 ・市町村の介護予防事業等を支援するため、自立支援・介護予防普及アドバイザーの派遣を行いました。
サキホコレ！トップブランド確立事業 (水田総合利用課秋田米ブランド推進室)	47,109	「サキホコレ」が全国トップブランドとしての地位を確立するため、生産対策や流通・販売対策、戦略的な情報発信等を総合的に実施します。	・栽培技術を生産者に普及するため、各地域に「技術普及展示ほ(技術普及を目的とした圃場)」を設置したほか、研修会の開催、技術情報の提供等を実施しました。 ・販路拡大につなげるため、登録取扱店の拡大を推進したほか、県外の量販店等でトップセールスを実施しました。 ・認知度と関心を高めるため、テレビCMの放映や各種キャンペーン等を実施しました。
高等学校学習環境等整備事業 (高校教育課)	584,662	社会の変化に対応し、生徒の多様な能力を伸ばす教育を充実させるため、専門高校の実習設備等を整備するほか、情報教室等のネットワーク環境を維持、管理します。	・農業高校1校の実習設備を整備したほか、小型実習船の建造を行い完成させました。 ・特別支援学校を含む全ての県立学校のICT環境の維持管理を行い、教育の情報化及び学習環境の充実を図りました。
動物にやさしい秋田推進事業 (生活衛生課)	9,009	動物愛護推進の拠点である動物愛護センターの円滑な運営ができるようボランティアを育成し、犬猫の譲渡推進や動物愛護の普及啓発事業を展開するとともに、その活動を広く県民に周知し、国内外に向けて「動物にやさしい秋田」を強力に情報発信することで本県のイメージアップを図ります。	・夏休み期間中にフォトコンテストを開催し、応募総数826点のうち入賞作品19点の県内巡回展示を行いました。 ・1月下旬に動物愛護センターにおいて冬フェスタを開催し、センター内の見学、秋田犬雪像制作体験、サッカー教室などの親子向けイベントを行いました。 ・センターに収容されている譲渡対象動物の写真や動画を撮影し、XやInstagram等のSNS上で動物愛護センター公式アカウントから情報発信することで、譲渡推進に取り組みしました。
災害救助対策費 (総合防災課)	23,355	暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他自然災害により被害を受けた「り災者」に対して見舞金の給付を行います。	・令和6年7月24日からの大雨災害等により被害を受けた方へ、災害見舞金の給付を行いました。
スポーツツーリズム推進による交流拡大事業 (スポーツ振興課)	40,109	県内プロスポーツチームによる秋田県のPRや、スポーツ人口のすそ野拡大、地域の一体感醸成等の活動を支援します。	秋田ノーザンハビネッツによる秋田県のPRや学校訪問等の活動を支援しました。
ツキノワグマ被害防止総合対策事業 (自然保護課)	1,900	ツキノワグマの被害防止のため、県民への普及啓発を行うほか、市街地出没など緊急的な事案に迅速に対応するための体制整備や人材育成を行います。	市町村等において、ツキノワグマの被害対策を主体的に行える人材育成のための研修会(基礎編2回、応用編2回)を開催しました。